

# 仁木悦子・江戸川乱歩書簡

落合 教幸

## 〈解題〉

二〇一六年、仁木悦子関連資料をご寄贈いただけたこととなった。

ご寄贈いただいたのは、江戸川乱歩賞の乱歩像と日本推理作家協会賞のポー像、そして乱歩から仁木悦子に宛てた書簡である。

仁木悦子は、一九二八（昭和三）年生まれ、昭和二十年代から大井三重子の名で童話を発表していた。仁木悦子の筆名で第三回江戸川乱歩賞を受賞し、推理小説作家となる。

江戸川乱歩賞は、一九五四年の乱歩還暦祝賀会で制定が発表された賞である。第一回（一九五五）は中島河太郎の「探偵小説辞典」に、第二回（一九五六）は早川書房のポケットミステリの出版に対して贈られた。第三回からは長

篇小説の新人賞となって現在まで続いている。

仁木悦子の「猫は知っていた」がこの賞を受賞するまでの経緯は、すでに知られている。「猫は知っていた」は、河出書房の書下ろし長篇小説募集に応募した作品だった。仁木の「作品ノート」（『仁木悦子長編推理小説全集1』立風書房、一九七七年）によれば、すでに当選決定の通知があり、担当編集者の坂本一亀からは多くの誤字が指摘されたりもしていたという。しかし入選発表の間に河出書房の経営が行き詰まり、刊行中止となってしまふ。作品の原稿は仁木に送り返された。しばらくして、この選考にかかわっていた乱歩から仁木に手紙が届く。この作品をあらためて乱歩賞へ応募することをすすめたのである。こうして仁木悦子「猫は知っていた」は、乱歩賞を受賞することになった。

このときから乱歩と仁木の交流がはじまった。仁木は随筆の類をあまり多く書いた方ではないが、乱歩について書いたものも残っている（「乱歩先生のこと」『江戸川乱歩全集月報1』講談社、一九六九年）。そこにも、手紙で乱歩にさまざまな相談をしたことが書かれている。「彼女は出版社のことや推理文壇のことはまるきり知らないから、よく教えてやってくれたまえ」と乱歩は編集者に言っていたと

いう。乱歩は仁木を褒め「この人はね、実にきれいな字を書くんだよ」と言っていたとも仁木は書いている。乱歩は仁木を気遣い、励まし続けたのだった。

戦後の乱歩は探偵小説界の中心として多くの後進を育てた。仁木もまたそのひとりということもでき、相当の期待をしていたことは、乱歩が機会あるごとに書いた文章から伝わってくる。

昭和二十年代の乱歩の若い作家との付き合いは、土曜会のような研究会を開いたり、酒席をともにするといった、直接対面するかたちでのものが多かった。山田風太郎や高木彬光といった戦後の作家とそうした付き合いがあったことは、彼らの随筆などからもわかる。昭和三十年代になると、乱歩の体調のこともあり、外出する頻度は少なくなってきた。その一方で雑誌『宝石』の編集に乗り出すなど、探偵小説への意識はおとろえなかった。乱歩は『宝石』を、戦前の『新青年』のように探偵小説の中心として位置づけていた。そして探偵小説を盛り上げるべく、多くの作家に寄稿を依頼したのだった。このような、探偵小説・推理小説の新しい流れを作り出そうとしているなかでの、新人作家との交流であったということができる。

今回紹介するのは、寄贈を受けた仁木悦子宛乱歩書簡と、平井家からの寄託資料にある乱歩宛仁木悦子書簡である。

乱歩から仁木に宛てた書簡には、河出書房から返却された原稿を乱歩賞へあらためて出すようにという書簡もある。授賞後の手紙では、選考の際の意見を伝えるなど、いくつかのアドバイスをおこなっていることもわかる。

仁木が乱歩賞を受賞した後、第五回（一九五九）では新章文子が受賞するなど、女性の推理小説家も増えてきた。そうした中、仁木悦子を中心として、女性ミステリ作家たちは「霧の会」を結成する。発案したのは新章文子で、「霧の会」の名は夏樹静子がつけた。ほかに、藤木靖子、南部樹未子、園田てる子、宮野村子、芦川澄子、曾野綾子、水芦光子らが参加している。毎月例会を開き、ゲストを招いて話を聞くという活動をしていた。

掲載したのは仁木悦子からの礼状だが、新章文子からも乱歩に礼状が届いている（昭和三十六年十月十九日消印）。昭和三十年代には推理作家たちがいくつものグループをつくり交流が行われていた。「他殺クラブ」「影の会」「不在クラブ」といったもので、「霧の会」もそのひとつである。

新章文子は「他殺クラブ」に参加していたが、女性作家だ

けの会を発足しようと思ひ立つ。仁木悦子を中心として、東都書房の原田裕の助力で結成された。第一回には樹下太郎と大坪直行がゲストとして参加、第二回に招かれたのが乱歩だった。乱歩の体調があまりよくなかったことは書簡からもうかがえる。この日の写真は『宝石』十二月号に掲載された。

この「霧の会」は三年ほど活動を続けたが、中心となる仁木の多忙などもあつて自然消滅のような形となつた。

書簡にあるように、このころ二日市安と知り合い、乱歩に仕事の紹介を打診している。二日市安は後藤安彦の筆名で翻訳家として活動していくことになる。その後、一九六二年六月にふたりは結婚する。後藤から見た仁木との関係は『猫と車イス』（早川書房）で詳しく書かれている。

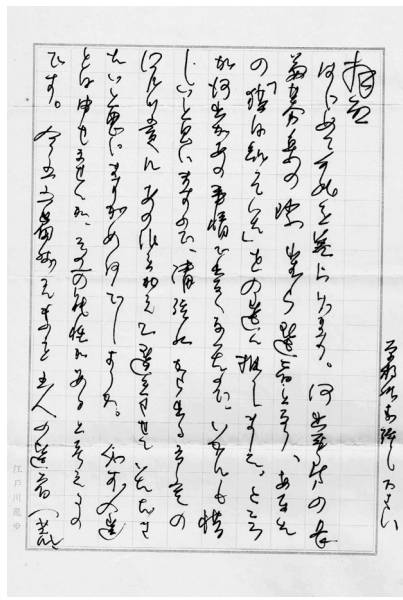
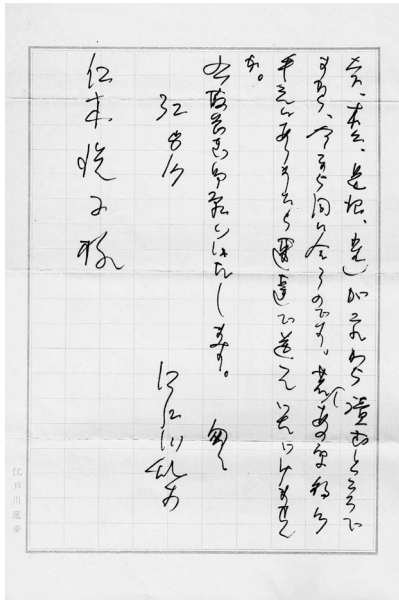
一九五七（昭和三十二）年八月から『宝石』は「江戸川乱歩責任編集」となっている。この乱歩編集期に、長篇『林の中の家』など、いくつもの仁木作品が掲載されている。『宝石』掲載作に乱歩は短い解説を付している。仁木について乱歩が書いた文章は多い。『江戸川乱歩 日本探偵小説辞典』（新保博久・山前讓編 河出書房新社）に収録されているものだけで、十篇を超える。

これらはそういった時期に書かれた書簡で、乱歩が仁木

に期待し、また仁木がそれにこたえようとしていた様子うかがえる資料となっている。

資料をご寄贈くださった二日市可代様、ご助力いただきました小野裕康様に感謝申し上げます。

（立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター学術調査員）



□ 判読できなかった全文

仁木悦子宛江戸川乱歩書簡

昭和三十二年八月

原稿□□□し下さい

拝啓

はじめて手紙を差上げます。河出書房の長篇募集の際、小生ら選者となり、あなたの「猫は知っていた」を入選に推しました、ところが河出がああ事情で出なくなつたので、いかにも惜しいと思いますので、講談社から出る予定の江戸川賞にあの作を加えて選考させていただきたいと感じますが如何でしょうか。必ず入選とは申せませんが、その可能性があると考えるのです。

今五六篇残つたものを五人の選者（荒、大下、木々、長沼、小生）がこれから読むところですから、今なら間に合ふのです。若しあの原稿御手元になりましたら速達で送っていただけませんか。

右取急ぎ御願いたします。匆々

32 8 17

〇河出選考のときの小生のメモに左のように記してあります。  
 又、それがうまく——のからだに当るか？  
 この部分もう少しもつともらしく説明せよ  
 簡単な文章ですが、御分かりと思えます。御参考までに。  
 (招待状はあとから別に出します。)  
 授賞式は二十八日(土)午後二時から四時半まで日比谷、

〇河出選考のときの小生のメモに左のように記してあります。  
 又、それがうまく——のからだに当るか？  
 この部分もう少しもつともらしく説明せよ  
 簡単な文章ですが、御分かりと思えます。御参考までに。  
 (招待状はあとから別に出します。)  
 授賞式は二十八日(土)午後二時から四時半まで日比谷、

江戸川乱歩  
仁木悦子様

昭和三十年九月

拝復□□□：□□しました。原稿に手を入れられる由、

その御参考左記します。

〇選考会の時大下君は、手術を誤ったために人を殺すという動機が薄弱だという説でした。小生はそうも思いませんが、やはり前の方で主人公が非常に名声のある医者で、手術を誤ったことが伝えられると致命傷になるといふ感じを、もう少し伏線的に「匂わせて」強く書いておく方がよいでしょう。

〇河出選考のときの小生のメモに左のように記してあります。

猫が重しで丁度うまくその時に動くか？

又、それがうまく——のからだに当るか？

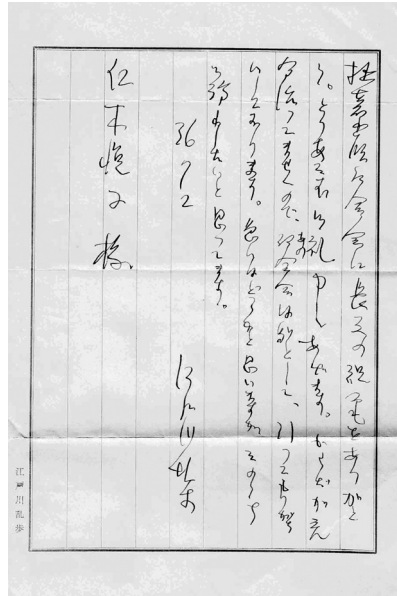
この部分もう少しもつともらしく説明せよ

簡単な文章ですが、御分かりと思えます。御参考までに。

(招待状はあとから別に出します。)

授賞式は二十八日(土)午後二時から四時半まで日比谷、





32 江戸川乱歩  
仁木悦子様

昭和三十六年七月

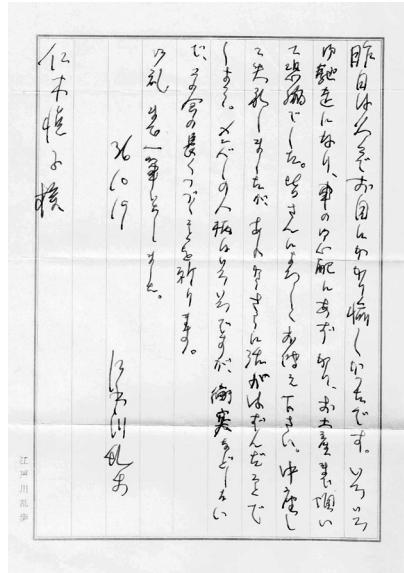
拙著出版記念会に長文の祝電をありがとうございます。とりあえず御礼申しあげます。からだは充分治ってませんので、あの記念会は別として引っこもりがちにしております。急にはどうかと思いますがそのうちお訪ねしたいと思っております。

36 7 2 江戸川乱歩  
仁木悦子様

昭和三十六年十月

御手紙ありがとうございます。霧の会には一度出たいと新章さんにいっておいたほどですから、当日からの調子さえ悪くなければ、是非出席いたします。新章さんから話□□よし、お待ちしております。御返事のみ

36 10 10 江戸川乱歩  
仁木悦子様



昭和三十六年十月

昨日は久々でお目にかかり愉快かったです。いろいろ御馳走になり、車の御心配にあずかり、お土産まで頂いて恐縮でした。皆さんによりしくお伝え下さい。中座して失礼しましたが、あれからさらに話はずんだことでしょう。メンバーの人柄はいろいろですが、衝突などしないで、この会の長くつづくことを祈ります。

御礼まで一筆いたしました。

江戸川乱歩

36.10.19

仁木悦子様

江戸川乱歩

36 10 19  
江戸川乱歩  
仁木悦子様



寒さのきびしい毎日ですが、お変わりなく  
 おすしのことと存じます。私こと  
 一月二十九日に、二年間の療養生生活を  
 終えて、経堂の家に帰ってまいりま  
 した。入院中は、いろいろと苦心配をいた  
 した。まことにありがとうございま  
 した。今後は体でいたわりながら、仕  
 事に専念したいと思っております。  
 どうか一そこの御指導をお願い申し上  
 げます。とりあえず、御あいさつまで。

いつのまにか今年も春酬わになり、浮きたつ  
 ような暖かさが続いております。いつも  
 御無沙汰ばかりいたしまして、申し訳な  
 い。お体のお加減が幾分おわるいと伺  
 いながら、お案じ申しあげておりました。が、  
 宝石 五月号の、作家クラブ賞受賞式ラ  
 ビヤで、お元気なお姿を拜見し、たいへん  
 うれしく、またお懐しく存じました。どうか  
 お体を御大切になさって、いつもお元気で  
 いらしてくださいませ。

江戸川乱歩宛仁木悦子書簡

昭和三十五年二月

寒さのきびしい毎日ですが、お変わりなくおすしのこと  
 と存じます。私こと一月二十九日に、二年間の療養生生活を  
 終えて、経堂の家に帰ってまいりました。入院中は、いろ  
 いろと苦心配をいただき、まことにありがとうございまし  
 ました。今後は体をいたわりながら、仕事に専念したいと思っ  
 ております。どうか一そこの御指導をお願い申し上げます。  
 とりあえず御あいさつまで。

昭和三十五年四月

いつのまにか今年も春酬わになり、浮きたつような暖か  
 な日が続いております。いつも御無沙汰ばかりいたしまし  
 て申し訳ございません。お体のにお加減が幾分おわるいと伺  
 いかげながらお案じ申しあげておりましたが、宝石五月号  
 の、作家クラブ賞受賞式のグラビヤで、お元気なお姿を拜  
 見し、たいへんうれしく、またお懐しく存じました。どう  
 かお体を御大切になさって、いつもお元気でいらつしやっ  
 てくださいませ。

2.

昨日は、東都書房のかたが写真をとりにみえまして、そのとき、推理小説大系の江戸川乱歩集をくたさいました。私は若年のため先生の初期の御作品などまだ拜見していませんが、たくさんあり、機会のあり次第読ませていただきますと願っておりますが、こうして一冊にまとめたのをうれしく、早速拜読させていただきます。私のような若輩の感想などは御遠慮させていただきますが、日本にこのような種類のもの全くなかった三十年も四十年も前に、このような作品の数々をお書きになったことに、ふかい感動を覚えました。私はいわゆる文学少女ではないので、純文学の私小説などよりは、論理的なものや、ロマンチックな幻想の方に、ずっと多くの感銘と共感を感じます。まあから望んでおりました御作品の数々に接することができました。ほんとうに感謝しております。

3.

もの全くなかった三十年も四十年も前に、このような作品の数々をお書きになったことに、ふかい感動を覚えました。私はいわゆる文学少女ではないので、純文学の私小説などよりは、論理的なものや、ロマンチックな幻想の方に、ずっと多くの感銘と共感を感じます。まあから望んでおりました御作品の数々に接することができました。ほんとうに感謝しております。

私は、おかげさまで、自宅の生活にもよう

MARUZEN TOKYO

MARUZEN TOKYO

昨日は、東都書房のかたが写真をとりにみえまして、そのとき、推理小説大系の江戸川乱歩集をくたさいました。私は若年のため先生の初期の御作品などまだ拜見していませんが、たくさんあり、機会のあり次第読ませていただきますと願っておりますが、こうして一冊にまとめたのをうれしく、早速拜読させていただきます。私のような若輩の感想などは御遠慮させていただきますが、日本にこのような種類のもの全くなかった三十年も四十年も前に、このような作品の数々をお書きになったことに、ふかい感動を覚えました。私はいわゆる文学少女ではないので、純文学の私小説などよりは、論理的なものや、ロマンチックな幻想の方に、ずっと多くの感銘と共感を感じます。まあから望んでおりました御作品の数々に接することができました。ほんとうに感謝しております。

私は、おかげさまで、自宅の生活にもようやく慣れ、ぼつぼつ仕事にかかっております。生活が変ったせい、しばらく体の調子が悪くて困りましたが、気候もよくなりまし、せいぜい精出してやりたいと思います。健康なかなのように量的に多くの仕事はできませんが、その代り細く長く、ミステリアンに喜んでもらえるものを書き続け

たく慣れ、◆ほつほつ仕事にかかってあります。生  
 活が変わったせいか、しばらく体の調子が悪くて困り  
 ました。が、気候もよくなりずりました。せいせい精出  
 してやりたいと思います。健康なかたのように  
 量的に多くの仕事はできませんが、その代り  
 細く長く、ミステリアスに喜んでもうえる  
 ものと書き続けて行きたいと願っています。  
 ではお体をくれぐれもお大事に。  
 四月 十五日  
 江戸川乱歩 様  
 仁木悦子 かしこ

先日はお手紙をありがとうございました。  
 御親切なお言葉をほんとうにありがとうございました。  
 友だちの二日市安さんの翻譯原稿別便で  
 お送り申します。もつとよいのがあったのです  
 けれど、都合で郷里のオに置いて来たままになっ  
 ているそうですので、とりあえずクリステイ一篇だけ  
 お目にかけます。お心を煩わせず申し訳ない  
 ませんが、どうかよろしくお願いたします。  
 毎日むしあつ日が続きますから、お体を  
 偉大に、なやましてくださいませ。  
 七月十九日  
 江戸川乱歩 様  
 仁木悦子 かしこ

て行きたいと願っています。

ではお体をくれぐれもお大事に。

四月十五日 かしこ

仁木悦子

江戸川乱歩様

昭和三十五年七月

先日はお手紙をありがとうございました。

御親切なお言葉をほんとうにありがとうございました。

友だちの二日市安さんの翻譯原稿別便でお送り申しあげ  
 ます。もつとよいのがあったのですけれど、都合で郷里の  
 方に置いて来たままになっているそうですので、とりあえ  
 ずクリステイ一篇だけお目にかけます。お心を煩わせず申  
 し訳ございませんが、どうかよろしくお願いたします。

毎日むしあつ日が続きますから、お体を御大切に  
 させていただきます。 かしこ

七月十九日

仁木悦子

江戸川乱歩様

昨日は、ご遠方のところを 私たちの会にご出席くださいまして、ありがとうございます。その上、おみやげまで頂戴いたしました。石よく御礼申しあげます。会員一同、願いが叶って大喜びでございますが、中でも私は、久しぶりで、おみやげにかかることができまして、ほんとうにお懐しく、どんなにうれしく存じましたか、わかりません。途中が長くて、お疲れになりませんでした。

2.  
しょうが。こちらの勝手ばかり申しあげてお疲れでは、なかつたかと、お安心し申しております。でも先生にいらつちやうていただけました。ほんとうに、楽しい記念すべき会になりましたこと、感謝いたしております。どうか、またこの次、お加減のおよろしい時に、お客様におなりになつてくださいます。たのしみは、いたしております。私、おかげ様で、こちらのところ、大変、元氣

昭和三十六年十月

昨日はご遠方のところを私たちの会にご出席くださいましてありがとうございます。その上おみやげまで頂戴いたしました。厚く御礼申しあげます。

会員一同願いが叶って大喜びでしたが、中でも私は久しぶりでおめにかかることができまして、ほんとうにお懐しく、どんなにうれしく存じましたかわかりません。

途中が長くてお疲れになりませんでしたでしょうか。こちらの勝手ばかり申しあげてお疲れではなかつたかとお案じ申しております。

でも先生にいらつちやうていただけました。ほんとうに楽しい記念すべき会になりましたことを感謝いたしております。どうかまたこの次お加減のおよろしい時にお客様におなりになつてくださいませ。たのしみはいたしております。私はおかげ様で、ごらんのとおり大変元氣にしております。充分な療養もでき、新しい家、便利な生活ができるようになりましたのも、先生が世に出していただきましたおかげと心から感謝申しあげております。何一つご恩返しできませんが、せめてよい推理小説を書くことによつて先生にお喜びいただきたいものと願つて努力しております。

3.  
はしてあります。十分な療養もでき、  
新しい家で便利な生活ができてよかったです。  
すしたのも、先生が世に出してくださ  
りました。おかげと心から感謝申しあげて  
あります。何一つご恩返しもできません  
んか。せめてよい推理小説を書きことに  
よって、先生にお喜びいただきたいと思います  
と願って努力してあります。新しい  
家に移りました。当座は雑用が多く  
気分も落ちつかないで困りましたが、最

す。新しい家に移りました。当座は雑用が多く気分も落ちつ  
かないで困りましたが、最近はやつといくらか自分のすま  
いという感じが出てまいりました。これからじつくり勉強  
して、宝石のはじめ、講談社、東都書房などのご注文を仕  
あげて行きたいと思っております。  
ではどうかお体をくれぐれもご大切に。  
とりあえず御礼まで  
十月十九日  
仁木悦子  
江戸川乱歩様

4.  
近は、やつといくらか自分のすまいという感  
じが出てまいりました。これからじつくり  
勉強して、宝石のはじめ、講談社、東  
都書房などのご注文を仕あげて行き  
たいと思っております。  
ではどうか、お体をくれぐれもご大切に  
とりあえず御礼まで  
十月十九日  
仁木悦子  
江戸川乱歩様

昭和三十七年五月  
梅雨めいたうつとうしいお天気が続くようになりまし  
た。その後お変わりなくおすごしでいらつしやいますか。  
私はおかげ様で元気で、ぼつぼつ講談社の書き下し長篇に  
とりかかつております。  
さて本日は先生にご報告申しあげたいことがございまし  
て筆をとりました。実は私こと来月末に結婚することにな  
りました。相手は、以前翻訳のごとお世話をおかけいた  
しました後藤安彦でございます。  
結婚の問題につきましてはかねてからご心配をいただ

1.  
梅雨がいたうとうしいお天気が続くようになりま  
した。その後、お変わりなくお過ごし  
ですか。私はおかげ様で元気が、ぼほつ講談社  
の書き下し長篇にとりかかっています。  
ま、本日は先生にご報告申しあげたいことが、ござい  
まして筆さとりしました。実は、私ことま月未の  
結婚することになりまして、相手は、以前親談  
のことで、お世話をおかけいたしました後藤安彦  
でございます。  
結婚の肉體につきまは、かねてから、心配とい  
たとき、温かなお心づかいを、どんなにうれしく思  
つておりましたが、わかりません。先生も、おしくま  
くたさいましたとあり、やはり女として結婚する  
のが幸福なことはおわかっておられ、私の場合、  
特殊な事情もございまして、安易な気持ちで

2.  
結婚生活にはいることは、やはり不安でなりません  
でした。幸い後藤は、私のことを心から愛してくれ  
てあります。性格的にも誠実な人であり、これまで  
の生い立ちも、その考え方も、また、仕事、性  
格も、似ておりますので、ここ三年ほどの間、交際  
して、互に理解し合い、力になりあつてまいりまし  
た。彼と結婚するのが、ふたりにとって一番幸福  
な道であると考え、そのうちに心を決めました。  
ただ、彼も、手足や言語が不自由な身であり、  
そのような者同士が一緒になることは、困難も多  
いのであります。私の場合、五体健全な何不足な  
い男性では、不当の理解や愛情が得られるとは  
思いません。それよりは、体に欠陥があるも、人肉  
的に信頼できる彼と、互に協力し合つて、努力し  
て行きたいと思っております。新章さんはい

き、温かなお心づかいをどんなにうれしく思っておりまし  
たかわかりません。先生もおつしやってくださいましたと  
おり、やはり女として結婚するのが幸福なことはわかるの  
ですけれど、私の場合特殊な事情もございまして、安易  
な気持ちで結婚生活にはいることは、やはり不安でなりませ  
んでした。幸い後藤は私のことを心から愛してくれており  
ますし、性格的にも誠実な人であり、これまでの生い立ち  
も、ものの考え方も、また仕事の性質も似ておりますので、  
ここ三年ほどの間、交際して互に理解し合い、力になりあつ  
てまいりました。彼と結婚するのが、ふたりにとつて一番  
幸福な道であると考えそのように心を決めました。

ただ、彼も手足や言語が不自由な身であり、そのような  
者同士が一緒になることは困難も多いのですけれど、私の  
場合、五体健全な何不足ない男性では、本当の理解や愛情が  
得られるとは思えません。それよりは、体に欠陥があつて  
も、人間的に信頼できる彼と互に協力し合つて努力して行  
きたいと考えております。新章さんはじめ霧の会の皆様  
も、喜んでくださつてうれしく思いました。  
彼もおかげさまで翻訳の仕事が続けており、先生のお力  
ぞえを感謝申しあげております。いづれお礼を申しあげる  
機会もございましてと思っております。

3.

事務の会の皆様も、喜んでくださって、うれしく思いました。  
 彼もふかけさまで、翻訳の仕事を続けてあり、たまの  
 お力をえて感謝申しあげてあります。いづれお礼  
 を申しあげられる機会も、ごありますことと思っております。  
 末月二十四日に、九段会館で、友人達が、お祝いの会  
 をひらいてくれることに、なっております。いすれ、委員  
 から、ご案内状を差送れること存じます。が、  
 ご都合が、お悪く、おかしません。どうか、い  
 つか、お体さぐれ、お祈り申しあげます。  
 おは、お体さぐれ、お祈り申しあげます。奥様によろしく  
 お伝えますよう。

江戸川 乱歩 様  
 仁木悦子 かしこ

来月二十四日に九段会館で友人達がお祝いの会をひら  
 いてくれることになっており、いづれ委員からご案内状を差  
 あげること存じますが、ご都合がお悪くございませんで  
 したら、どうかいらつしやつてくださいます。お願い申し  
 あげます。

では、お体をくれぐれもご大切に。奥様によろしくお伝  
 えくださいますよう。 かしこ

仁木悦子

江戸川乱歩様